

# ふたかみ NEWS プチトマト

あけまして  
おめでとうございます

## 2021 丑



本年もどうぞよろしくお願ひいたします

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: [futakami@kagayaku-inochi.com](mailto:futakami@kagayaku-inochi.com) <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



### 12月9日は障害者の日

1975年12月9日に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択されたことを記念して「障害者の日」と定められました。きょうされん大阪支部やその他団体で、毎年12月9日に大阪府庁周辺で福祉・医療・教育にかかる施策を充実してほしいと集会をおこない、請願署名を大阪府に提出してきました。

今年はコロナ禍のため、集会はやむなく中止となりました。しかしながら、支援学校の過大・過密などの問題や、障害のある方の多様な暮らしに向けた充実を声を上げていかなければなりません。請願署名は後日改めておこない、教育や暮らしの場の充実を求めています。

(関口な)

きょうされん 第44次

## 国会請願署名・募金運動 全国キャンペーン

2020年12月~2021年4月



障害者権利条約を地域のすみずみに  
障害のある人びとを支える  
制度づくりのための  
署名・募金にご協力ください。



わたしたちも応援しています。

### はびきの園物品販売



葛井寺販売、道明寺天満宮販売、滝谷不動販売

すべて中止とさせていただきます

#### ■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

【2020年度11月】

- ・関口耕一郎 . . . . . 以上4口
- ・古谷章 . . . . . 以上2口
- ・宮本幸代 宮本民子 熊野照司 森義彦 小田百合子 石田陽喜 宇野玲 . . . . . 以上1口

■ボランティア . . . . . であい様/畑英作様/細川直幸様/松倉和代様/垣内秀夫様

■アルミ缶回収（11月分） . . . . . 538kg

ありがとうございました

◆2020年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では用地を確保し、暮らしの場の充実をはかっていきます。

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

新しい生活様式と共に迎える ゆく年、くる年  
新年に向かって思うこと

新型コロナウイルスに明け、暮れた2020年（令和2年）でした。新しい生活様式の元静かに、でも暖かく2021年（令和3年）の新年をお迎えのことと思えます。あらためまして、  
明けまして

おめでとうございます

コロナ禍の中、緊急事態宣言が出されたのが昨年の4月のことでした。それ以前より学校は一斉休校になり日本中に行動の自粛が要請されました。そんな中、医療関係者と高齢者・障害者福祉に携わる関係者には事業継続の要請がだされ、ふたかみ福祉会としても利用者、家族、職員の協力、努力の元に閉所することなく事業を続ける事ができました。しかし全世界的にはパンデミック、国内を見ると「医療崩壊」「介護・福祉崩壊」が常に危惧され、我が国の社会保障・社会福祉制度の脆弱さが表面化しています。「自助・共助・公助

そして絆」が強調され公的責任が蔑ろにされています。何とか公的責任の下にコロナ感染

防止策を自治体任せ、医療・福祉現場任せにせず取り組んでほしいとの声が多くのところ（メディアや集会等）で大きく叫ばれています。

さて今年もまだまだwithコロナの新しい生活様式での生活が求められます。マスクの着用、手洗い消毒の慣行、三密（密閉、密集、密接）を避ける等油断することなく新年のスタートを切りましょう。はびきの園の横に造成された土地は昨年度の利用は小学校のプールが借りられない代わりに小プールを設置、または密を避けたバーベキューを楽しむ取り組みなどに利用しました。今年はいよいよ新しい生活耕房の工事が始まる予定です。明るい話題です。

最後に今年も利用者の皆さん、家族の皆さん、職員の皆さんそれに福祉会を支援してくださるすべての皆さんと共に前を向いて歩いて行きましょう。

今年もよろしくお祈りします  
理事長 八木昭二

法人内研修

「基礎講座」

11月21日（土）大西記念センター二階にて連続基礎講座2回目に参加しました。今回の内容は「なかまという呼び方に込められている発達保障の思想」を議題にグループワークを行いました。なかまとは・・・の質問に対し議論するのではなく、なにかまについて自分の思いを知ってもらおうグループワークでした。私にとつてのなかまは、「障害の有無に関わらず、共に生活する全ての人」だと思っています。入職当初「なかま」の言葉に対する思いは、組織による呼び方だと思っています。しかし知り合いと話をする際「なかま」と発した言葉に対し、「素敵な言葉やね」と言われたことをきっかけに、私の中にある「なかま」に対する考え方が少しずつ変わって来たことを思い出しました。資料の中で、「働きかけるものが働きかけられる」「なかまの変化で自分自身の見方が変わる」との言葉にとても共感を持ちました。日々なかまに対し、働きかけている私たち職員です

（山田）

ハピバールミニ運動会

昨年はコロナウイルスの影響により、フレスポが中止となりました。なので、ハピバールは独自で運動会を開催しました。「いちじく割り班」と「オレンジライフ班」対抗で競技を行いました。1つ目の競技は、玉入れでした。みなさん毎年、フレスポで玉入れをしている事もあり、腕前の方はさすがと



いった所でした。2つ目の競技はピンポン玉をお玉に乗せて走るお玉リレーを行いました。シグザクとしたコースがありました。みなさんピンポン玉を落とさないように慎重に走られました。なかまの「頑張れー！」という歓声もあり、盛り上がりを見せました。午前の最後は応援合戦を行いました。今まで頑張って練習してきたダンスを発表しました。いちじく割り班は、「ドリフターズ」「happiness」「フォーチュンクッキー」。オレンジ班は、星野源の



「恋」で恋ダンスを踊り、お互いエールを送りました。午後にはリレーを行いました。最終競技で気合が入り、みなさん全力疾走で体育館を駆け回りました。閉会式では、各班賞状を頂き、お互いに健闘を称えました。

（阪本）

ハピバールの戸田さんが取材を受けました！

先日、NHKハートネットTVの木下真氏が戸田廣幸さんの取材に來られました。

木下氏は相模原障害者殺傷事件の後に、日本の障害者施設の歴史についてまとめておられます。また障害者アートにも興味を持たれ、昨年のabout me 3で戸田さんの作品と出合い実際に他の作品や制作の様子などを見たいとの事で取材に來られました。日々私たちと一緒に仕事をやる仲間の活動に興味や関心を持ってもらえること、とても嬉しく思います。そしてアートを通じていろんな方々と出会い、それがみんなの幸せに繋がると思っております。



はるクラブ学習会

が、気が付けばなかまに働きかけられているのではと感じることが多く、共に支え合っているからこそ、良いチームワークが出来るのではないかと感じました。なかまの日々変化を感じながら、自分自身の成長につなげていきたいと思えます。また、呼称問題はなかまに対してだけではなく、職員間でも増えてきているように感じます。当たり前のように〇〇ちゃんと呼んでいる職員の声を耳にします。全てがダメな事だとは思いませんが、呼ばれている当事者や周りの方がどのような思いをするのか考えながら、なかまに対してだけではなく、職員同士でも気を付けなくてはならないことだと改めて思いました。働く年数が経つにつれ、自分のやりやすい対応で日々の業務を行っていますが、基礎講座を受講したことで初心に戻り何を大切に行うことが必要なのかを考えるよい機会になりました。

支援センターはる（南河内北

障害者就業・生活支援センター）に登録されている一般企業に勤めている方々の学習会として、今回は「はるクラブカフェ！」と称して、ハピバールでスイーツを食しながら今後の将来の事（自分、親、家族の事等）について語りあいました。

カフェというくつろいだ空間の中で話し会えたことで個々にいろんな思いを聞くことができました。その中でほとんどの方々が親亡き後の生活について不安を感じておられ、税金のこと、書類などの手続き、家事のことなど、今後の自分の生活について具体的な意見が出ていました。それぞれの家庭環境が異なり個々に対応策が必要となる問題なので今後の学習会でも取り上げていく予定です。

（大竹）

